

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和六年五月度 入賞句一覧 投句数 千四百六十句

特選

遠藤 幹郎 選

強打者のボールは春の宙を舞う

加茂郡川辺町 安江 大和(中三)

「春の宙を舞う」がいいですね。強打者の打ったボールは、高々と春の空に吸い込まれるように飛んでいったというのです。強打者は、チームの四番でホームランバッターなのでしよう。寒い冬から暖かい春となり、身も心も明るく弾んでくる、その季節感がよく捉えられました。

よざくらにあかりがともりひとだけ

大垣市 馬淵 珠月(小三)

「ひとだけ」がいいですね。夜桜見物に来た大勢の人が集まっているというのです。お花見は、昼間の明るい時に多くの人が出かけますが、夜桜見物もまたいいものです。「よざくらにあかりがともり」という表現もすばらしいです。夜桜見物の雰囲気がよく出ています。

ちる桜つかまえたくなる手の中に

大垣市 加藤 和真(小六)

言葉の並べ方に工夫のあとが見られる一句です。「ちる桜手の中につかまえたくなる」でもいいのですが、この句のようにすることで、散ってくるサクラの花びらを自分の手の中につかみ取りたいんだという強い気持ち、読み手の心によく伝わって来ます。

秀逸

山肌にピンクのじゅうたん芝桜

加茂郡川辺町 井澤 陸斗(中二)

露天風呂夜空を見ると朧月

加茂郡川辺町 中島 元悠(中二)

モクレンの白い花卉が地に積もる

加茂郡川辺町 富松 輝行(中二)

授業中困りに困る花粉症

加茂郡川辺町 座間 心美(中三)

さくらさくわくわくするね三ねんせい

大垣市 ごとう さき(小三)

ちようが飛びそれを目で追う黒い猫

大垣市 矢野 斗真(小五)

大空ですいすいおよぐこいのぼり

大垣市 谷 実咲(小五)

やわらかな日ざしのもとで燕飛ぶ

大垣市 石谷 颯志(小六)

はれ姿肩にピンクの桜舞う

大垣市 板山 輔孝(小六)

春の朝雲一つない快晴だ

大垣市 山本 心結(小五)

入選

小中学生の部

オレンジの夕日にてらされ帰路につく

加茂郡川辺町

山田 愛華(中二)

春の山さみしい色から鮮やかに

加茂郡川辺町

高井 菜々美(中二)

花吹雪風に揺られて舞い落ちる

加茂郡川辺町

田原 萌那(中二)

花吹雪新たな自分へ変わりゆく

加茂郡川辺町

村山 心菜(中二)

桜咲く新たに始まる二年生

加茂郡川辺町

鈴木 開智(中二)

給食のにおいを届ける春の風

加茂郡川辺町

櫻井 鳳琉(中三)

桜咲くとうとう私も三年生

加茂郡川辺町

加納 希音(中三)

さくらさきそれを見に来る外人さん

加茂郡川辺町

後藤 優空(中三)

春の風新たな出会い運んでく

加茂郡川辺町

山下 夏樹(中三)

登下校桜のトンネル進んでく

加茂郡川辺町

鈴木 瑛心(中三)

おはなみでおだんごたべていいきもち

大垣市

はら ひろと(小三)

たんぽぽがしろくなったらそらのたび

大垣市

和田 心晴(小三)

さくらがね雨といっしょにちっちゃった

大垣市

山田 詩音(小五)

ラベンダーむらさき色のカーペット

大垣市

加代 杏奈(小五)

来年もだせるといいなひな人形

大垣市

富田 梨央(小五)

桜見はかぞくみんなのおもいでだ

大垣市

山田 桃璃(小五)

外に出る風がいつぱい春風だ

大垣市

浅野 晴香(小五)

ひなまつり家族でつくる手巻寿司

大垣市

木村 美紅(小六)

友達と空をみあげる春の雲

大垣市

大橋 あおい(小六)

白い花甘い香りと苺の実

大垣市

兒玉 碧依(小五)

選者吟

橋いくつ潜り抜けたる花見舟

幹 郎

